

特定非営利活動法人 MYフィットネス研究会

定 款

# 特定非営利活動法人 MYフィットネス研究会 定款

## 第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、特定非営利活動法人MYフィットネス研究会という。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を東京都練馬区豊玉北四丁目23番1号に置く。

(目的)

第3条 この法人は、広く一般市民に対して、「自分の体は自分で管理・MYフィットネス」という理念の基、美と健康の保持・向上、ストレス発散、生活習慣病予防及び介護予防等を実現するため、講習会の開催、普及啓発及び指導者の育成等を行い、人々がいつまでも健康で明るく暮らせる社会づくりに寄与することを目的とする。

(特定非営利活動の種類)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次に掲げる種類の特定非営利活動を行う。

- (1) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
- (2) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- (3) 社会教育の推進を図る活動

(事業の種類)

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、特定非営利活動に係る事業として、次の事業を行う。

- (1) MYフィットネス体操の普及啓発事業
- (2) MYフィットネス指導者に関する基準の策定、公表及び資格認定事業
- (3) 会報機関紙、教材の発行等による広報事業
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 この法人は、次のその他の事業を行う。

- (1) スポーツ用品・用具の販売事業

3 前項に掲げる事業は、第1項に掲げる事業に支障がない限り行うものとし、その収益は、第1項に掲げる事業に充てるものとする。

## 第2章 会員

(種別)

第6条 この法人の会員は次の4種とし、正会員をもって特定非営利活動促進法（以下「法」という。）上の社員とする。

- (1) 正 会 員 この法人の目的に賛同して入会した個人
- (2) 準 会 員 この法人の活動に参加するために入会した個人

- (3) 名誉会員 この法人の発展に特に功労のあった者の中から理事会で承認した個人
- (4) 賛助会員 この法人の目的に賛同して賛助するために入会した個人及び団体

(入会)

第7条 名誉会員以外の会員の入会については、特に条件を定めない。

- 2 会員として入会しようとするものは、理事長が別に定める入会申込書により、理事長に申し込むものとし、理事長は、正当な理由がない限り、入会を認めなければならない。
- 3 理事長は、前項のものの入会を認めないときは、速やかに、理由を付した書面をもって、本人にその旨を通知しなければならない。

(入会金及び会費)

第8条 会員は、総会において別に定める入会金及び会費を納入しなければならない。

(会員の資格の喪失)

第9条 会員が次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。

- (1) 退会届の提出をしたとき
- (2) 本人が死亡し、若しくは失踪宣告を受け、又は会員である団体が消滅したとき
- (3) 継続して1年以上会費を届出なしに滞納したとき
- (4) 除名されたとき

(退会)

第10条 会員は、理事長が別に定める退会届を理事長に提出して、任意に退会することができる。

(除名)

第11条 会員が次の各号の一に該当する場合には、総会の議決により、これを除名することができる。

- (1) この定款に違反したとき
  - (2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき
- 2 前項の規定により会員を除名しようとする場合は、議決の前に当該会員に弁明の機会を与えなければならない。

(拠出金品の不返還)

第12条 既に納入した入会金、会費及びその他の拠出金品は、これを返還しない。

### 第3章 役員

(種別及び定数)

第13条 この法人に次の役員を置く。

- (1) 理事 5人以上15人以内

(2) 監事 1人以上2人以内

2 理事のうち、1人を理事長とし、1人を副理事長とする。

(選任等)

第14条 理事は、理事会において選任し、総会に報告する。

2 理事長及び副理事長は、理事の互選とする。

3 役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは3親等以内の親族が1人を超えて含まれ、又は当該役員並びにその配偶者及び3親等以内の親族が役員の総数の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

4 法第20条各号のいずれかに該当するものは、この法人の役員になることができない。

5 監事は、総会で選任する。

6 監事は、理事又はこの法人の職員を兼ねることができない。

(職務)

第15条 理事長は、この法人を代表し、その業務を総理する。

2 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故があるとき又は理事長が欠けたときは、その職務を代行する。

3 理事は、理事会を構成し、この定款の定め及び総会又は理事会の議決に基づき、この法人の業務を執行する。

4 監事は、次に掲げる職務を行う。

(1) 理事の業務執行の状況を監査すること

(2) この法人の財産の状況を監査すること

(3) 前2号の規定による監査の結果、この法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実があることを発見した場合には、これを総会又は所轄庁に報告すること

(4) 前号の報告をするため必要がある場合には、総会を招集すること

(5) 理事の業務執行の状況又はこの法人の財産の状況について、理事に意見を述べること

(任期等)

第16条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠のため、又は増員により就任した役員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。

3 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(欠員補充)

第17条 理事又は監事のうち、その定数の3分の1を超えるものが欠けたときは、遅滞なくこれを補充しなければならない。

(解任)

第18条 役員が次の各号の一に該当する場合には、理事は理事会において理事総数の3分の2以上の議決により、監事は総会において出席者総数の3分の2以上の議決により、これを解任することができる。

(1) 心身の故障のため、職務の遂行に堪えないと認められるとき

(2) 職務上の義務違反、その他役員としてふさわしくない行為があったとき

2 前項の規定により役員を解任しようとする場合は、議決の前に当該役員に弁明の機会を与えなければならない。

(報酬等)

第19条 役員は、その総数の3分の1以下の範囲内で報酬を受けることができる。

2 役員には、その職務を執行するために要した費用を弁償することができる。

3 前2項に関し必要な事項は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

## 第4章 会議

(種別)

第20条 この法人の会議は、総会及び理事会の2種とする。

2 総会は、通常総会及び臨時総会とする。

(構成)

第21条 総会は、正会員をもって構成する。

(総会の権能)

第22条 総会は、以下の事項について議決する。

(1) 定款の変更

(2) 解散及び合併

(3) 会員の除名

(4) 入会金及び会費の額

(5) 監事の選任又は解任、役員の職務及び報酬

(6) 事業報告及び収支決算

(7) 解散時の残余財産の帰属

(8) その他運営に関する重要事項

(総会の開催)

第23条 通常総会は、毎年1回開催する。

2 臨時総会は、次に掲げる場合に開催する。

(1) 理事会が必要と認め、招集の請求をしたとき

(2) 正会員総数の5分の1以上から会議の目的を記載した書面により、招集の請求があったとき

(3) 監事が第15条第4項第4号の規定に基づいて招集するとき

(総会の招集)

第24条 総会は、前条第2項第3号の場合を除いて、理事長が招集する。

- 2 理事長は、前条第2項第1号及び第2号の規定による請求があったときは、その日から30日以内に臨時総会を招集しなければならない。
- 3 総会を招集する場合には、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面により、開催の日の少なくとも5日前までに通知しなければならない。

(総会の議長)

第25条 総会の議長は、その総会に出席した正会員の中から理事長が指名する。

(総会の定足数)

第26条 総会は、正会員総数の2分の1以上の出席がなければ開会することはできない。

(総会の議決)

第27条 総会における議決事項は、第24条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

- 2 総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(総会での表決権等)

第28条 各正会員の表決権は、平等なものとする。

- 2 やむを得ない理由により総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。
- 3 前項の規定により表決した正会員は、前2条、次条第1項及び第49条の規定の適用については出席したものとみなす。
- 4 総会の議決について、特別の利害関係を有する正会員は、その議事の議決に加わることができない。

(総会の議事録)

第29条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(1) 日時及び場所

(2) 正会員総数及び出席者数（書面表決者又は表決委任者がある場合にあっては、その数を付記すること。）

(3) 審議事項

(4) 議事の経過の概要及び議決の結果

(5) 議事録署名人の選任に関する事項

- 2 議事録には、議長及び総会において選任された議事録署名人2人が、記名押印又は署名

しなければならない。

(理事会の構成)

第30条 理事会は、理事をもって構成する。

(理事会の権能)

第31条 理事会は、この定款に別に定める事項のほか、次の事項を議決する。

- (1) 総会に付議すべき事項
- (2) 総会の議決した事項の執行に関する事項
- (3) その他総会の議決を要しない業務の執行に関する事項

(理事会の開催)

第32条 理事会は、次に掲げる場合に開催する。

- (1) 理事長が必要と認めたとき。
- (2) 理事総数の2分の1以上から理事会の目的である事項を記載した書面により招集の請求があったとき。

(理事会の招集)

第33条 理事会は、理事長が招集する。

- 2 理事長は、前条第2号の規定による請求があったときは、その日から14日以内に理事会を招集しなければならない。
- 3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面により、開催の日の少なくとも5日前までに通知しなければならない。

(理事会の議長)

第34条 理事会の議長は、理事長がこれにあたる。

(理事会の議決)

第35条 理事会における議決事項は、第33条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

- 2 理事会の議事は、理事出席者数の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(理事会での表決権等)

第36条 各理事の表決権は、平等なものとする。

- 2 やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決することができる。
- 3 前項の規定により表決した理事は、前条及び次条第1項の適用については、理事会に出席したものとみなす。

- 4 理事会の議決について、特別の利害関係を有する理事は、その議事の議決に加わることができない。

(理事会の議事録)

第37条 理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 理事総数、出席者数及び出席者氏名（書面表決者にあつては、その旨を付記すること）
- (3) 審議事項
- (4) 議事の経過の概要及び議決の結果
- (5) 議事録署名人の選任に関する事項

- 2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人が記名押印又は署名しなければならない。

## 第5章 資産

(資産の構成)

第38条 この法人の資産は、次の各号に掲げるものをもって構成する。

- (1) 設立当初の財産目録に記載された資産
- (2) 入会金及び会費
- (3) 寄付金品
- (4) 財産から生じる収入
- (5) 事業に伴う収入
- (6) その他の収入

(資産の区分)

第39条 この法人の資産は、これを分けて特定非営利活動に係る事業に関する資産及びその他の事業に関する資産の2種とする。

(資産の管理)

第40条 この法人の資産は、理事長が管理し、その方法は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

## 第6章 会計

(会計の原則)

第41条 この法人の会計は、法第27条各号に掲げる原則に従って行わなければならない。

(会計の区分)

第42条 この法人の会計は、これを分けて特定非営利活動に係る事業会計及びその他の事業会計の2種とする。

(事業年度)

第43条 この法人の事業年度は、毎年1月1日に始まり、同年12月31日に終わる。

(事業計画及び予算)

第44条 この法人の事業計画及びこれに伴う収支予算は、毎事業年度ごとに理事長が作成し、理事会の議決を経て、次の総会に報告することとする。

(予備費)

第45条 予算超過又は予算外の支出に充てるため、予算中に予備費を設けることができる。  
2 予備費を使用するときは、理事会の議決を経なければならない。

(予算の追加及び更正)

第46条 予算成立後にやむを得ない事由が生じたときは、理事会の議決を経て、既定予算の追加又は更正をすることができる。

(事業報告及び決算)

第47条 この法人の事業報告書、収支計算書、貸借対照表及び財産目録等決算に関する書類は、毎事業年度終了後、速やかに、理事長が作成し、監事の監査を受け、総会の議決を経なければならない。  
2 決算上剰余金を生じたときは、次事業年度に繰り越すものとする。

(臨機の措置)

第48条 予算をもって定めるもののほか、借入金の借入れその他新たな義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事会の議決を経なければならない。

## 第7章 定款の変更、解散及び合併

(定款の変更)

第49条 この法人が定款を変更しようとするときは、総会に出席した正会員の4分の3以上の多数による議決を経、かつ、法第25条第3項に規定する軽微な事項を除いて所轄庁の認証を得なければならない。

(解散)

第50条 この法人は、次に掲げる事由により解散する。

- (1) 総会の決議
- (2) 目的とする特定非営利活動に係る事業の成功の不能
- (3) 正会員の欠亡
- (4) 合併
- (5) 破産手続開始の決定
- (6) 所轄庁による設立の認証の取消し

- 2 前項第1号の事由によりこの法人が解散するときは、正会員総数の4分の3以上の承諾を得なければならない。
- 3 第1項第2号の事由により解散するときは、所轄庁の認定を得なければならない。

(残余財産の帰属)

第51条 この法人が解散(合併又は破産手続開始の決定による解散を除く。)したときに残存する財産は、法第11条第3項に規定する法人の中から、総会において議決したものに譲渡するものとする。

(合併)

第52条 この法人が合併しようとするときは、総会において正会員総数の4分の3以上の議決を経、かつ、所轄庁の認証を得なければならない。

## 第8章 公告の方法

(公告の方法)

第53条 この法人の公告は、この法人の掲示場に掲示するとともに、官報に掲載して行う。

## 第9章 事務局

(事務局の設置)

第54条 この法人に、この法人の事務を処理するため、事務局を設置する。

- 2 事務局には、事務局長及び必要な職員を置く。

(職員の任免)

第55条 事務局長及び職員の任免は、理事長が行う。

(組織及び運営)

第56条 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

## 第10章 雑則

(細則)

第57条 この定款の施行について必要な細則は、理事会の議決を経て、理事長がこれを定めることができる。

上記定款記載内容に間違いはありません。

特定非営利活動法人MYフィットネス研究会 理事長 松原 恵子

## 附 則

- 1 この定款は、この法人の成立の日から施行する。
- 2 この法人の設立当初の役員は、次のとおりとする。

理 事 長	吉岡 康子				
副理事長	平元 つや子				
理 事	佐藤 公子	新村 園枝	松原 恵子	岡安 裕子	
	小熊 宏子	久郷 幸子	小松 由美	室橋 美喜子	
監 事	尾熊 勝子	福島 達也			
- 3 この法人の設立当初の役員任期は、第 16 条第 1 項の規定にかかわらず、この法人の成立の日から平成 19 年 12 月 31 日決算に係る通常総会が開催される月の末日までとする。ただし、通常総会は決算日から起算して 3 ヶ月以内に行うものとする。
- 4 この法人の設立当初の事業年度は、第 43 条の規定にかかわらず、この法人の成立の日から平成 18 年 12 月 31 日までとする。
- 5 この法人の設立当初の事業計画及び収支予算は、第 44 条の規定にかかわらず、設立総会の定めるところによる。
- 6 この法人の設立当初の入会金及び会費は、第 8 条の規定にかかわらず、次に掲げる額とする。

(1) 正 会 員 (個人)	入会金	0 円	年会費	57,750 円
(2) 準 会 員 (個人)	入会金	0 円	年会費	11,550 円
(3) 名誉会員 (個人)	入会金	0 円	年会費	0 円
(4) 賛助会員 (個人)	入会金	0 円	年会費	1 口 1,050 円 (1 口以上)
( 団 体 )	入会金	0 円	年会費	1 口 10,500 円 (1 口以上)

### 附則の変更 平成 20 年 (2008 年) 2 月 23 日より実施する

- |                |      |     |       |                      |  |
|----------------|------|-----|-------|----------------------|--|
| 副理事長           | 松原恵子 | 理 事 | 平元つや子 |                      |  |
| (5) 正 会 員 (個人) | 入会金  | 0 円 | 年会費   | 55,000 円             |  |
| (6) 準 会 員 (個人) | 入会金  | 0 円 | 年会費   | 11,000 円             |  |
| (7) 名誉会員 (個人)  | 入会金  | 0 円 | 年会費   | 0 円                  |  |
| (8) 賛助会員 (個人)  | 入会金  | 0 円 | 年会費   | 1 口 1,000 円 (1 口以上)  |  |
| ( 団 体 )        | 入会金  | 0 円 | 年会費   | 1 口 10,000 円 (1 口以上) |  |

### 附則 1 の変更 平成 21 年 (2009 年) 2 月 21 日より実施する

主たる事務所の変更 新 東京都練馬区豊玉北 4 丁目 2 3 番 1 号  
旧 東京都練馬区関町南 2 丁目 8 番 1 号

### 附則 2 の変更 平成 21 年 (2009 年) 2 月 21 日より実施する

福島監事の辞任に伴い、監事を尾熊勝子 1 名とする

### 附則 2 の変更 平成 22 年 (2010 年) 1 月 1 日より実施する

理事 佐藤公子 平元つや子 新村園枝 の辞任

### 附則 2 の変更 平成 22 年 (2010 年) 2 月 27 日より実施する

尾熊監事の辞任に伴い、新村園枝を監事に選任する

**附則2の変更 平成24年(2012年)1月1日より実施する**

理事長 松原恵子 副理事長 岡安裕子 顧問理事 吉岡康子

**附則6の変更 平成25年(2013年)1月1日より実施する**

発足当時の会員を除く新規正会員の入会金を変更する

会費を月会費として年12回納入することとする

(9) 正会員(個人) 入会金 5,000円 月会費 5,000円

(10) 準会員(個人) 入会金 0円 月会費 1,000円

**附則の変更 平成26年(2014年)2月22日より実施する**

新任理事 臼田富士美 田村多佳子 松山千昌

**附則の変更 平成27年(2015年)1月1日より実施する**

顧問理事 吉岡康子 の辞任

**附則の変更 平成28年(2016年)2月28日より実施する**

新村監事の任期満了に伴い、吉岡康子を監事に選任する

**附則6の変更 平成31年(2019年)3月1日より実施する**

会費の変更

(11) 正会員(個人) 月会費 7,000円

(12) 名誉会員(個人) 月会費 2,000円

**附則6の変更 令和1年(2019年)7月20日より実施する**

入会金・会費の変更

(13) 準会員(個人) 入会金 5,000円 年会費 5,000円

**附則の変更 令和1年(2019年)8月24日をもって**

理事 田村多佳子の辞任

**附則の変更 令和2年(2020年)8月31日をもって**

理事 松山千晶の辞任

**附則6の変更 令和3年(2021年)1月1日より実施する**

会費の変更

(14) 正会員(個人) 月会費 5,000円

**附則の変更 令和3年(2021年)12月31日をもって**

理事 小熊宏子の辞任

**附則6の変更 令和5年(2023年)2月1日より実施する**

入会金・会費の変更

(15) 正・準会員(個人) 入会金 10,000円

(16) 準会員(個人) 年会費 8,000円

**附則6の変更 令和6年(2024年)1月9日より実施する**

会費の変更 月会費を年会費とする

(17) 正会員(個人) 年会費 123,000円